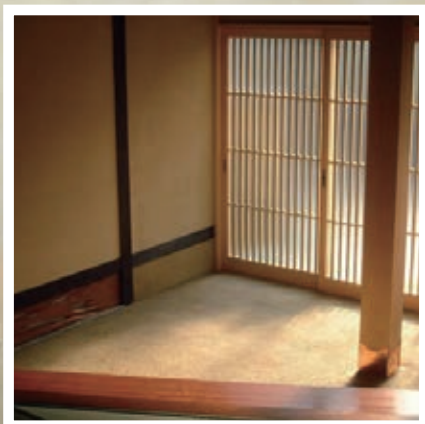


内・外装土間仕上げ材

土・セメント

土間用

荷姿 20kg／紙袋



「土・セメント」とは…

土の保つ柔らかさとセメントの強さを融合させた『土・セメント』は、新たな建築分野を開拓しました。ここに紹介する土間仕上げ材は、古くから施工されている土間たたきのイメージを基本に、工期の短縮化と強さを高めた工法です。穏やかな色彩の『土・セメント』と、天然色石が調和して歩く人の心を和ませる土間を演出します。

※土・セメントは、通常歩行を目的とした用途に施工が可能です。

車等、重量物の通る場所の施工には適しません。

土・セメント 土間用

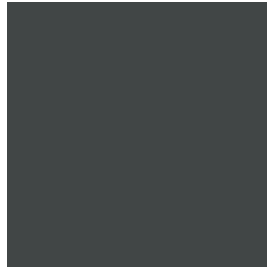
天然の陶土が保つ柔らかさとセメント

色見本

※印刷による色見本のため、実際の商品と多少色味が異なります。



黄土



黒瓦



赤錆

特注色(無機顔料の範囲)も承ります。

下地

下地	処理
モルタルの場合	プライマーを塗布後、完全乾燥してから土・セメントのノコを下擦りし、追っかけ(水引きがない状態)で仕上げ材の施工をして下さい。
コンクリートの場合	

※その他の下地に関しては御相談下さい。

施行面積・配合

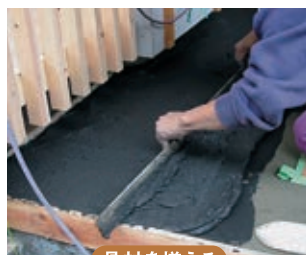
用途	使用材料	使用量	塗り厚	施工面積
ノコ部	土・セメント	20Kg	下擦り	約20㎡
仕上げ部	土・セメント	20Kg	20mm厚	約2㎡
	ふるい砂	40ℓ		
表面強化剤	フロアトップ	16Kg	ローラー	約44㎡
		4Kg		約11㎡

手順

※施工の前に、施工手順書をご覧ください。



塗り付け



骨材を揃える



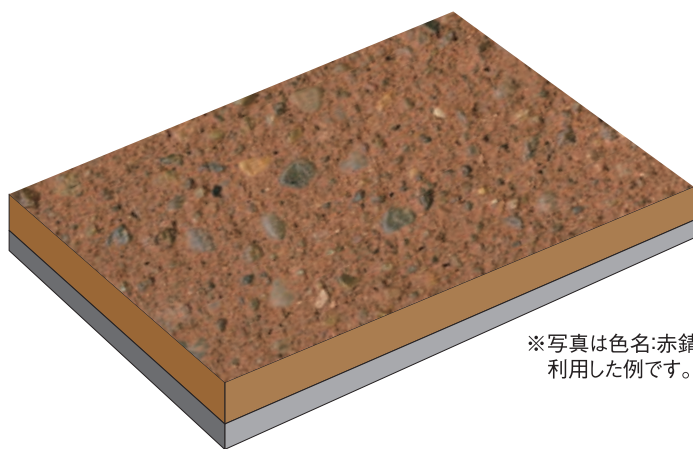
輾押え



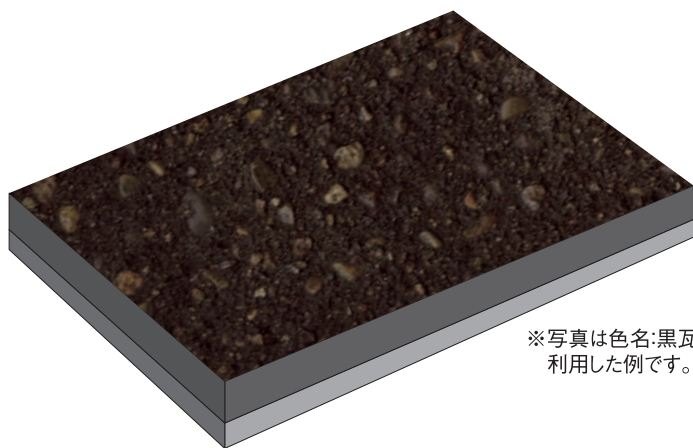
かきおとし

の強さが、天然色石と調和して歩く人の心を和ませます。

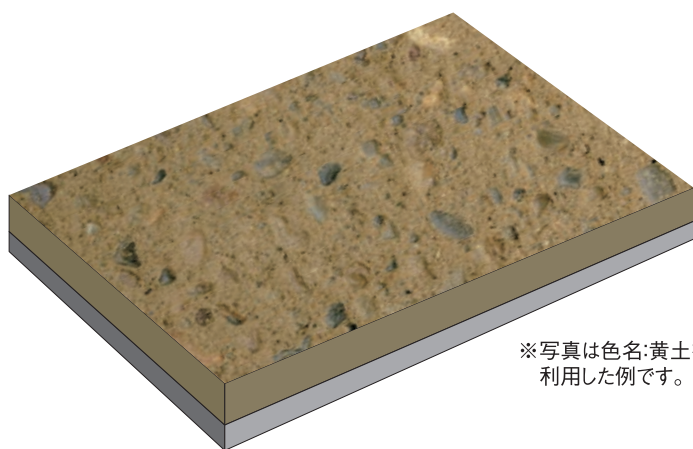
ワイヤーブラシでかきおとす... かきおとし 仕上げ



※写真は色名:赤錆を利用した例です。



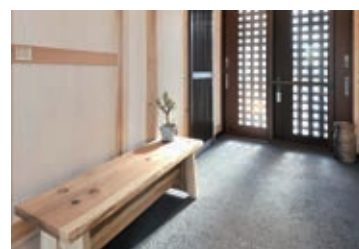
※写真は色名:黒瓦を利用した例です。



※写真は色名:黄土を利用した例です。



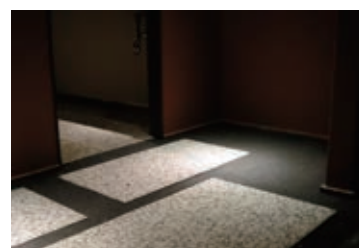
東京都東村山市/個人邸
かきおとし仕上げ/色名:黄土
設計:野沢正光建築工房+半田雅俊設計事務所
施工:相羽建設



滋賀県湖南市/個人邸
かきおとし仕上げ/色名:黒瓦
設計:荒川建設



京都府京都市/店舗
かきおとし仕上げ/色名:黄土
設計:設計工房TACtac



東京都港区/店舗
かきおとし仕上げ/色名:黒瓦
設計:坂倉建築研究所

副資材

川砂利 (産地:鬼怒川)



3分下程度の川砂利です。他、大磯や南部砂利などの玉砂利石を使用した仕上げも可能です。但し、大きさ及び、1配合分の配合量は、お守り下さい。

※大きさ→2分 又は、3分
※配合量→20ℓ(約30Kg)
(土・セメント20Kgに対して)

ふるい砂 (産地:鬼怒川)



中目程度のふるい砂です。現地のふるい砂の使用も可能です。但し、黒色のふるい砂は色味に影響致しますので、不向きです。又、1配合分の配合量は、お守り下さい。

※配合量→40ℓ
(土・セメント20Kgに対して)

※立ち上がり部(巾木等)の配合につきましては裏面をご参照下さい。

SPECIFICATION...

天然の陶土が保つ柔らかさとセメントの強さが天然色石と調和して
歩く人の心を和ませます。

標準仕様

名称	用途	容量	基準水量
土・セメント(土間用)	内外装土間仕上げ材	20kg	約10ℓ (仕上げ部)

※土・セメントは、通常歩行を目的とした用途に施工が可能です。車等、重量物の通る場所の施工には適しません。

配合

用途	使用材料	使用量	塗り厚	施工面積
ノロ部	土・セメント	20Kg	下塗り	約20㎡
仕上げ部	土・セメント	20Kg	20mm厚	約2㎡
	ふるい砂	40ℓ		
	川砂利	20ℓ(約30Kg)		
表面強化剤	フロアトップ	16Kg 4Kg	ローラー	約44㎡ 約11㎡
	立ち上がり・巾木 (かきおとしの場合)	土・セメント	20Kg	10mm~15mm厚
ふるい砂		20ℓ		
川砂利		10ℓ		
立ち上がり・巾木 (フラットのの場合)	土・セメント	20Kg	5mm厚	約5㎡
	ふるい砂	20ℓ		
	モルタル用クラック 防止用繊維	適量		

適応下地

●モルタル又はコンクリート(立ち上がり・巾木部はモルタル刷毛引き仕上げ)
プライマー処理後必ず乾燥してから土・セメントのノロをしごき塗りし、
追っかけ(水引きがない状態)で仕上げ材の施工をして下さい。
※その他の下地に関しましては、お問い合わせ下さい。

混練り

- ミキサーでダマのないよう十分に攪拌して下さい。
- 混練りした材料は30分以内に使いきって下さい。

塗り付け

- 柱やチリ際、その他付着が心配される所には、事前にテープ養生を行って下さい。
- プライマー処理後、完全乾燥させてから施工して下さい。
- 塗り付けは、土・セメントのノロをしごき塗りし、追っかけ仕上げ材の施工をして下さい。
- 水引き後仕上げ材が縮まりましたら、鏝押さえし、骨材の高さを整えて下さい。
- 一面の塗り付けは、時間差や材料の差が無いよう、区切って施工して下さい。
- 仕上げパターンは、使用される道具や作業される方によって異なりますので注意して下さい。

乾燥

- 天然の陶土を使用してる為、ゆっくり乾燥致します。表面が乾燥しても、内部までの乾燥には時間がかかります。
- 施工後はなるべく早く乾燥するように、換気や除湿には十分配慮して下さい。但し、急激な乾燥は避けて下さい。

かきおとし

目安時間

日照条件、施工条件等で異なります。

夏期	冬期	春秋期
3~6時間	6~8時間	4~6時間

使用道具

●ワイヤーブラシ ●真鍮ブラシ ●左官刷毛

- あまり締まらない状態でかきおとしますと材料が骨材にかぶりやす。締まり具合を十分確認して下さい。
- ワイヤーブラシで骨材が見えるまでかきおとし、骨材が見えてきたら、真鍮ブラシで丁寧にかきおとして下さい。
- ※真鍮ブラシは、少したたくように利用されますと、骨材に付着した材料が取り易くなります。
- 階段等の出隅は額縁仕上げをし、額縁仕上げとの境は定木をあて、丁寧にかきおとして下さい。

保護・養生

- 未乾燥時の雨・風・低温は、色変わりやクラック、エフロレッセンス(白華現象)の原因になります。天候には十分注意して施工し、又シート養生を行って下さい。又、シート養生は、施工部に密着させないで下さい。

フロアトップ(表面強化剤)

仕上げ材の未乾燥での塗布は、エフロレッセンス(白華現象)の原因になります。必ず乾燥してから塗布して下さい。(日照条件・施工条件等で異なりますが仕上げ材塗り付け後最低3日以上)
※十分に乾燥確認後塗布して下さい。

試験成績

項目	曲げ	圧縮	接着	<材令14日> データ年月: 平成15年10月
結果(N/㎠)	3.3	12.9	0.6	

使用上の注意

[施工]

- 施工から乾燥までの気温が5℃以下になる場所での施工は避けて下さい。
- 釘など錆が発生する可能性がある箇所には、錆止め処理をして下さい。
- 直射日光の当たる場所や高温、高湿度の場所での保管は避けて下さい。
- 使用した道具は早めに水洗いをして下さい。
- 天然の陶土を原料としておりますので、施工後わずかですが退色する事があります。

[健康・環境]

- 使用の際は、手袋やマスクを着用して下さい。又、内部での施工時は換気をして下さい。
- 皮膚に付いたり、目や口に入った場合は、清水で15分以上洗い、場合によっては医師の診断を受けて下さい。
- 袋や残材等は指定の場所で処理し、河川等を汚染等する場所には処理しないで下さい。(各自自治体の処理方法に従って下さい)

※表紙写真

(左) 滋賀県大津市/個人邸、かきおとし仕上げ/色名:黄土、設計:はまくち工務店
(中) 三重県四日市市/個人邸、かきおとし仕上げ/色名:黄土、設計:荒川建設
(右) 神奈川県横浜市/個人邸、かきおとし仕上げ/色名:黄土、設計:TAM建築設計室

(販売)駒形石灰工業 株式会社 (製造)株式会社 東京壁材

〒327-0525 栃木県佐野市あくど町4201

TEL0283-85-2484 FAX0283-86-2851 E-mail:info@komagata-inc.com URL:http://komagata-inc.com/